

【出題の意図】

「一」 〈出典〉 渋沢 栄一 著 守屋 淳 訳 現代語訳『論語と算盤』より
「第6章 人格と修養」抜粋

2010年2月10日 株式会社筑摩書房 発行 ちくま新書827

引用範囲 p125～p129

問一 基本的な漢字の読みや書き取りが正確にできるか。

問二 文章中の重要語句の意味を文章中から見つけ出し、適切に答えることができるか。

問三 文章中の副詞や接続詞を空欄にして、前後の文の関係や意味から適語を見つけていることができるか。

問四 人と動物の相違点を明確に打ち出しているため、正確に見つけ出すことができるか。

問五 慣用的表現の読みや意味を正確に表現でき、類語表現を見つけていることができるか。

問六～問七 筆者の考え方の根拠や主題を正確に読み取り、理由や説明を簡潔に表現することができるか。

「二」 〈出典〉 鈴木 秀夫 著 『森林の思考・砂漠の思考』より

「第二章 変化する森林と砂漠」の「氷河時代の様相」全文

1978年3月20日 日本放送出版協会 発行 NHKブックス312

引用範囲 p46～p48 〈文章の一部を省略した↓p48p5「第1図にみられる通り、」〉

問一 基本的な漢字の書き取りが正確にできるか。

問二 文章中から類似した語句を見つけ、それらの表現が重ねられている理由を説明することができるか。

問三～問四 傍線部の語句について、具体的に指摘したり、設問に応じて適切に答えたり、文章中から正確に抜き出した
りすることができるか。

問五 空欄に入る適切な語句を、語群の中から選び出すことができるか。

問六 筆者の文章全体を把握し、論旨と合致しない内容を指摘することができるか。

「三」 慣用的表現の一部を空欄にして、文中での使い方や意味、あるいは文末表現を参考にしながら、適切な語句を選択する
ことができるか。

二〇二五年度入学者 聖霊女子短期大学 一般選抜（一般Ⅱ期）試験問題

【現代の国語・言語文化】

※解答は、全て解答用紙に記入すること。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては

著作権の都合により公開できません。

問一 線部 a～f の漢字には読み仮名を付け、カタカナや平仮名は漢字に直しなさい。

a 際限 b とどまる c ロンキョ d シュウヨウ e こらしめて f 遊説

問二 線部 1 「人は『万物の霊長』」とあるが、この語句の意味は何か。文章中の言葉を参考に簡潔に答えよ。

問三 A～C に入る言葉の組み合わせを、次の①～④の中から一つ選び答えよ。

- | | | | | | |
|----------|--------|-------|----------|---------|--------|
| ① A つまり | B そこで | C だから | ② A そのうえ | B したがって | C とにかく |
| ③ A とりわけ | B たとえば | C つまり | ④ A まして | B まず | C ところが |

問四 線部 2 「人と動物とはどこが違うのか」とあるが、人と動物ではどんな点が違うのか、文章中から三十五字以内で抜き出して答えよ。(句読点も字数に含む)

問五 線部 3 「雲泥の差」について。

(1) この語句の読み方をすべて平仮名で答えよ。

(2) この語句の意味を簡潔に答えよ。

(3) この語句と似たような意味をもつことわざを次から二つ選び、記号で答えよ。

ア ぬかに釘 イ 花と蝶 ウ 月とすっぽん エ 提灯ちようちんに釣り鐘かね オ 実力じつりよく伯仲はくちゆう

問六 線部 4 「孔子は確かに落第生にすぎない」と考えた理由は何か。簡潔に答えよ。

問七 線部 5 「人を評価するむずかしさを知るべきである」とあるが、筆者は「人の真価を見極めるための基準」はどうあるべきだと述べているか説明せよ。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては

著作権の都合により公開できません。

問一 線部 a、e のカタカナを、漢字に直して答えよ。

- a コウタイ b トウライ c ケンチヨ d セイイン e カンソウ

問二 線部 1 「氷河時代とは、人類全体としてみれば快適な時代であった」について。

- (1) 氷河時代を「快適な時代」と受け止めているが、同様な捉え方をしている別な表現を同じ段落から一つ探し答えよ。
(2) このように考える理由は何か、簡潔に答えよ。

問三 線部 2 「最後の氷河時代であるヴルム氷期」の際に、氷でおおわれた地域はどこか、二カ所答えよ。

問四 線部 3 「他の地域におこった目をみはる現象」について。

- (1) 他の地域とはどこか答えよ。
(2) 「目をみはる現象」とはどんな現象か答えよ。
(3) その原因を究明した結果、現在最も確かな考え方は何か答えよ。

問五

□ A～Cに入る適切な語句を次の語群からそれぞれ選び、記号で答えよ。

A

ア	未開の地
イ	不毛な地
ウ	禁断の原
エ	死地の谷
オ	豊穡な地

B

ア	断片的
イ	意図的
ウ	懐疑的
エ	普遍的
オ	一義的

C

ア	試行錯誤の場
イ	鍛錬の場
ウ	腕試しの場
エ	活躍の場
オ	学びの場

問六 この文章の内容と明らかに合致しないものを次から二つ選び、記号で答えよ。

- ① 氷河時代は、地球全体が氷でおおわれ、生き物はほとんど生存しないと考えられていたが、実際は一部の地域だけであり、ほとんどは寒冷ではあるものの、住みやすい地域も存在していた。
- ② 〈緑のサハラ〉という言葉が象徴するように、サハラ砂漠の緑化は、氷河時代がもたらした自然の恩恵であった。
- ③ マンモスやオオツノジカをイメージする氷河時代は、全体が雪や氷でおおわれた、生き物にとって生きてゆくには過酷な環境で、人間が生き延びることのできないおそろしい時代であった。
- ④ 砂漠の消滅は、気温の上昇や雨をほとんど降らせない前線帯などの活動の活発化によってもたらされたもので、歓迎すべき事である。
- ⑤ 氷河時代にあっても、旧石器時代人の狩猟に励む姿は、〈緑のサハラ〉では多く見ることができたのではないかと想像できる。

三 次の空欄を補うのに最も適当な語句を、下のア～コの中から一つずつ選び、記号で答えよ。

- ① 民衆の抵抗にあい、軍隊は撤退を「 」なくされた。
仕方なく
- ② 問題集の販売促進に協力するに「 」ではない。
協力を惜しまない
- ③ 妻が夫に虐待された例は「 」に暇がない。
数え切れないほどだ
- ④ 徹夜で考えた解決策が「 」に付されて不満を抱く。
価値のないものとして相手にされない
- ⑤ 副知事は疑惑に対して「 」になって反論する。
むきになる
- ⑥ 社長の「 」にふれた彼はクビになった。
激しい怒り

ア	枚	ま	まい	き	きょ	か	溜	りゅう	いん	飲	ウ	如	いか	何	ん	イ	齒	し	が	ア	枚	まい	拳	けん	エ	吝	ひん	カ	躍	やく	オ	躍	やく	起	キ	余	よ	儀	儀	ク	名	めい	状	じょう	ケ	逆	ぎげ	鱗	りん	コ	一	いっ	笑	しょう
---	---	---	----	---	----	---	---	-----	----	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	----	---	---	----	---	---	----	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	-----	---	---	----	---	----	---	---	----	---	-----

●現代の国語・言語文化 〈配点100点〉

一 40点

問一 a さいげん b 留まる c 論拠 d 収容
e 懲らしめて f ゆうぜい (2点×6)

問二 この世に存在するすべての中で最も優れているのはすなわち人間である。(3点)

問三 ④ (3点)

問四 道徳を身につけ、知恵を磨き、世の中のためになる貢献ができるという点 (33字) (3点)

問五 (1) うんでのいさ (3点)
(2) 天と地ほどのへだたり。いちじるしい違いがあること。 (3点)
(3) ウ・エ (3点×2)

問六 富を基準として人の真価が問われると、いかに徳の面で高名な孔子であつても周の文王などには到底及ばないから。 (3点)

問七 人の真価は、その人が社会のために尽くそうとした精神を大事に、その効果がどうであつたかを見て行うべきである。 (4点)

二 42点

問一 a 後退 b 到来 c 顕著 d 成因 e 乾燥 (2点×5)

問二 (1) 幸福な時代 (2点)
(2) 氷河時代は地球全体から見るとごく一部で、砂漠が草原化したり住み心地のよさを感じられたりした時代であつたから。 (3点)

問三 ヨーロッパ北西部、北アメリカ北部 (2点×2)

問四 (1) サハラ砂漠 (サハラ も可) (2点)
(2) サハラ砂漠の消滅すなわち緑化 (3点)

(3) 前線帯がサハラ砂漠のなかまで侵入して雨を降らせたから。 (3点)
問五 A イ B オ C エ (3点×3)
問六 ③・④ (3点×2)

三 18点

① キ ② エ ③ ア ④ コ ⑤ オ ⑥ ケ (3点×6)